

「生涯学び未来を育てるまちづくり」

子育て支援、教育の推進事業に関しては、教育大綱における基本目標も踏まえて各種事業を展開して参ります。

・未来をつくる教育の推進

教育環境の充実につきましては、令和4年度から実施しております小学校全学年の30人少人数学級を引き続き実施するとともに、タブレット端末を効果的に授業に取り入れ、子どもたちの学習理解度を高めることにつなげてまいります。

また、不登校やその傾向にある児童生徒への支援や、発達特性に応じた一人ひとりに最適な支援ができるよう、学校内の人員体制を充実いたします。

学校給食では、食材の購入価格が高騰しておりますが、高騰分を町が負担することとし、保護者負担を抑える取組を実施します。

地域を支える人材の育成につきましては、家庭や地域の教育力の向上等にむけ、引き続き「家庭教育12か条」や「あいさつ運動」を推進するとともに、「通学合宿」を再開し、家庭や地域と連携する取り組みを進めます。

また、地域活力の維持に欠かせない鳥取中央育英高校の存続に向け、高校、県教委、地域と連携し高校の魅力化を進めてまいります。

町において高校と地域をつなぐ役割を担うコーディネーターを配置し、地域資源やデジタルを活用した幅広い学びの機会を提供し、将来の進路に接続できるような学びと探究の充実を図ります。

生涯学習活動の推進につきましては、中央公民館では、仲間づくりや生きがいづくり、認知症予防や情報格差の解消といった地域課題の解決に向けた講座を開催し、町民の教養の向上を図ってまいります。

また、令和4年度のほくえい未来ラボでの町民研究員のみなさんの議論をもとに、大栄分館の建て替えに向け取り組むとともに、オンラインへの対応など現在の施設で対応が可能なものについては、実現を図ってまいります。

図書館では、「令和5年度に開館30周年を迎えること」を好機と捉え、図書館事業を幅広く周知し、読書をすすめる取組を展開してまいります。

また、「読書が好きな人の施設」という役割だけではなく、幅広い世代の「地域とつながる、居心地のよい図書館」となるよう、町民が主体となった活動も継続し、魅力化を図ります。

・子育て支援の充実

新たに、小学校及び中学校の入学時に祝金を給付し、該当世帯の費用負担の軽減を図ってまいります。

妊娠期、出産期の支援として、国の出産子育て応援交付金事業を活用するとともに、妊産婦の面談を充実し、必要な支援サービスへの確実な接続を実施してまいります。

こども園につきましては、引き続き、発達段階に応じたきめ細やかに連続する保育・教育の推進に取り組んでまいります。

子育てと仕事の両立支援としましては、延長保育、病児・病後児保育、休日保育、放課後児童クラブなどの保育サービスを引き続き実施してまいります。

・文化・芸術の振興

北栄みらい伝承館を核として郷土の歴史や文化を身近に感じる企画展を開催するほか「文化の薫るまち 北栄町」として、引き続き北栄町美術展をはじめ、北栄文化回廊や公民館まつりなど、年間を通し、取り組んでまいります。

・スポーツの振興

すいか・ながいも健康マラソンを4年ぶりに現地で開催します。職員・ボランティアスタッフ・地域が一丸となって参加者に喜んでいただける大会になるよう努めます。